

サービス統計研究会の開催について

平成 19 年 4 月 16 日
総務省統計局統計調査部
経済統計課

1 目的

既存の月次・四半期ごとに実施されている第三次産業分野に係る統計調査等において、十分なデータが得られていない分野が存在することを踏まえ、四半期ごとの GDP (QE: Quarterly Estimates) を始めとする各種経済指標の精度向上等幅広い観点から、第三次産業全体の動向を概括的に把握するため、新たな動態統計調査の創設に関し、その調査対象範囲や調査事項、調査方法等調査計画の企画・立案上の諸問題についての検討を行うことを目的として、サービス統計研究会(以下「研究会」という。)を開催する。

2 検討事項

研究会における検討事項は、次のとおりとする。

- (1) 調査の目的・必要性
- (2) 調査対象範囲
- (3) 調査単位
- (4) 調査周期
- (5) 標本設計
- (6) 調査事項
- (7) 調査方法
- (8) 結果の推計方法
- (9) 結果の利用方法及び集計事項
- (10) その他

3 構成員

研究会の構成員は、別紙のとおりとする。

4 開催

平成 19 年度は、4 回程度開催することとする。

5 庶務

研究会の庶務は、統計調査部経済統計課において処理する。

(別紙)

サービス統計研究会の構成員

東京大学名誉教授	竹内 啓
(株)大和総研コンサルティング本部 副本部長	引頭 麻実
慶應義塾大学経済学部教授	清水 雅彦
東京国際大学経済学部教授	菅 幹雄
法政大学キャリアデザイン学部教授	外川 洋子
国立大学法人信州大学経済学部教授	舟岡 史雄

内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部長
経済産業省経済産業政策局調査統計部
統計企画調査官(サービス統計室長)
東京都総務局統計部経済統計課長
独立行政法人統計センター製表部次長

統計局統計調査部長
統計局統計調査部調査企画課長
統計局統計調査部調査企画課調査官
統計局統計調査部経済統計課長

その他、経済統計課長が指名する者
座長

平成 19 年 11 月 15 日に経済産業省経済産業政策局調査統計部
参事官(産業統計室長)から交代